

第 六九一九 號

アメリカ合衆國

國務省

關係 各位

茲に添付する書表は國務省に存する書表の正確なる
寫したるものなるを証明す。

右證明として一九四七年（昭和廿年）八月一日
余、國務長官デヨーヂ、シー、マーシャルはニロ
ンビア區ワシントン市に於て本省認證官をして
國務省印を押捺、余の姓名を記せしめた。

國務長官デヨーヂ、シー、マーシャル

國務省認證官エム。ビシ、デヨヴァイン作成

Def. Doc# 2700 - H

不詳

一九四五年十月十五号

中野正剛 在 地連 ワシントン
大藏省 事務官
財務省 肉税 事務官

ウイリアム・R・ジョンソン氏宛

國務省特別企画部 長官 部長代理

アルバート・E・クスターマン シニア 氏宛

ヨーロッパ 到着の 外交 團 戦時特許 属する

日本官吏 一行 の 関税検査に 肉税 査

去る七月九日 及 八月九日 附当部 提出の 覚書 に 関 係

追記憶の二とと思ふ事あり

分類変更
不明
特別企画部 権限不明
特別企画部 日附 2/13/47

staff officers and unit commanders about problems of strategy, education and self-government. At each meeting General KIMURA gave necessary instructions. At the meeting on strategy when I presented myself, he delivered repeated addresses in reference to the maintenance of military discipline and to winning public favor. It was also emphasized to the same effect at other meetings. We, as his subordinates, concentrated our efforts to carry them out in obedience to his intentions.

Because of racial similarities, from the very beginning, the Japanese Army and the Burmese people were well disposed toward each other. Generally the Japanese Army was cautious and prudent in action and enforced strict military discipline and thereby had won the confidence of the Burmese people at large. With the increasingly heavier pressure of troubles by war, an anti-war feeling was gradually stealing into the hearts of the Burmese people. Particularly since the latter period of the battle of Irrawaddy, in view of Japan's obvious defeat, an anti-Japanese tendency seemed to have been brought about among a certain portion of the people, from the time of the revolt of the Burmese National Defense Army.

6. After the failure of the operations in the Impahl zone, the 15th Army suffered heavy losses both in number of troops and arms. Remarkable decline was seen of morale and physical strength. More than that, a great number of soldiers were

関税当局は三小らの人々の米國到着に際し
その所持品の臨検を行つたことを想定
米所持物を検査すべしとの思ひを述べたるが

其指し示す日本人は國務省の

監視下に置き小取

三小らの人々は向も亦く米國陸軍輸送

船隻に日本(送還)されるが

右一行の大きな荷物はすかに西部海岸へ

輸送すべし一九四五年十月十四日(前夜に)シアトルの陸

軍当局に引渡さるべし八五名の日本人は

一九四五年十一月二日午前九時シアトル到着の

一九四五年十月十六日ペニシルバニア州

フォートヘットフォード温泉ホテルを

出発すべし。彼等は手荷物少量

定に對して何か保證はあるであらうか同様に、日本國民を太平洋の西側に彼等が確立した諸地帯から逐ひ出す目的だけで、米國民が喜んで其の際に廣河を海外作戰に従軍するかどうかといふ事も亦疑はしいであらう。

一九四一年（昭和十六年）七月三十一日重慶發、蔣介石主席より米國大統領宛の電報

（拜啓）全中國資産を凍結の支配下に置かれ度しとの余の要求に應ぜられたことに對し深く感謝致します。此れは凡ゆる方法で中國を援助せんとする貴下の希望を更に證據立てるものでもあります、そして其の意味に於て中國々民の希望を更に證據立てるものでもあります。

18

所持し、直ちに國務省、代表から軍当局
に引渡さしむるのありき。

それらの人々も米が到着の際に検査を

受けて当地滞在し、監視下にあり

つゝといふも美人に鑑み、米國を去る可

きは、それらの人々及びその事務所に対する関税

検査は、均ほ小す。やう要請

大蔵省 財務省 外國資産管理局は、外國

次員産官理用、同する限り、均ほ

その出発に際し、乗船港に税関吏

臨検せしむるに、父西せしむると、関税局に通報

せしむると、
それらも、外國事務省が了解

教員

宣
誓
書

良心ニ從ヒ眞實ヲ述べ何事ヲモ黙秘セズ又何事ヲモ附加セザルコトヲ誓フ

署名 孫印

山崎

茂